

令和7年度(2025年度)の振り返り

北区の重点取組

担い手の確保

地域活動の担い手不足の解消

在住外国人との共生

地域住民と在住外国人の交流等強化

令和7年度 重点取組に対する取組実績

担い手の確保

※ 令和7年度 第3回まちづくり懇話会資料より

地域×企業×学校で支える未来の担い手づくり

【植木まちづくりセンター】

【概要】

北区集談会において、北区地域の将来を見据え、20年後、30年後の地域を支える担い手の育成を図るため、2月5日（木）、地域企業関係者と植木地域にある8つの小学校の関係者による意見交換会を開催し、その中で、子どもたちが地域に関心をもち、主体的に関わるための取組について対話を行った。当日は、各小学校の校長及びPTA会長等の学校関係者18名、並びに24社・28名の企業関係者が参加した。

地域資源や企業の特性を生かした学習機会の創出に加え、学校教育への具体的な関わり方や連携の進め方などについて意見が交わされ、学びや体験の充実につながる多様な意見やアイデアが提案された。

【関係団体】

- ・小学校関係者
(校長、PTA会長等)
- ・植木地域の企業 24社



【連携後の効果、今後の展開など】

地域と学校が連携することにより、教育活動の幅が拡大し、子どもたちの主体性や地域理解の向上が期待される。

今後も、学校及び地域企業等の関係者と連携を図りながら、地域に根ざした取組を継続的に推進していくための意見交換の場を設けることとする。

地域×企業×学生による高齢者向け活動

【清水まちづくりセンター】

【概要】

清水地域における高齢者向け活動において、介護事業等の協力に加え、ルーテル学院高校生が「ルーテル区役所(※1)」活動の一環で新たに参加し、地域・企業・学生のつながりを生み出すきっかけとなった。

R7.8月

地域と学生の顔合わせ
ルーテル生と清水・麻生田地域の民生委員等が、地域の高齢者事情について意見交換。

R7.10月

地域行事への参加
麻生田校区認知症対策訓練(※2)にルーテル生が初参加。

R8.1月

企業と連携した学外活動
企業(あいこう)と連携し、施設入所者向けにルーテル生による高齢者向け活動を実施。



【連携後の効果、今後の展開など】

【地域(麻生田校区)】
学生の柔軟な発想に刺激を受け、校区小中学生による高齢者向け活動の実施を検討中。
また、学生が地域活動に関心を持つことは、近未来的な地域の担い手育成にもつながる。

【企業(あいこう)】
学生の高齢福祉分野への関心向上が、人材確保にも寄与する可能性あり。

【ルーテル学院高校生】
地域で活動する人々から実情を学んだことで、学外活動にどう貢献できるかを考える視野を育む。
なお、当グループの活動は、本年度のルーテル区役所における最優秀賞に選ばれた。

【関係団体】

- 【地域】・社会福祉協議会(清水、麻生田)
・民生委員・児童委員協議会(清水、麻生田)
・麻生田校区自治協議会
- 【企業】・ささえりあ新地
・指定居宅介護支援センターあいこう(北区集談会参加企業)ほか8事業所
- 【学生】・ルーテル学院高等学校

在住外国人との共生

外国人のための自転車の安全な乗り方教室

【北部まちづくりセンター】

【概要】

「区長との意見交換会」にて、西里小6年生の児童が、

“通学路で出会う外国人の自転車のスピード運転や並んで走るのが怖い”という意見

外国人を雇用する企業から“交通ルールを学べる場がほしい”という要望
“地域と企業の双方の声”に応える形で開催。

【実施内容】

- ・熊本北合志警察署による自転車の実技指導
- ・スターバックスコーヒー北熊本SA店の協働
～コーヒー試飲と交流会&意見交換～

参加者28名

ベトナム13名、インドネシア12名、カンボジア1名、ミャンマー2名



R7.11 意見交換会



R8.1 自転車教室



R8.3 動画完成報告会

【期待できる効果】

- ・交通ルール理解の促進
- ・地域・企業・警察の連携強化
- ・外国人の孤立防止・共生促進のきっかけに

【今後の展開】

- ・学生と企業の動画作成プロジェクト
- ・多世代参画による地域参画を促進
- ・地域課題を“自分ごと化”する仕組みづくり

相互理解から広がる、外国人も参加する地域活動

【龍田まちづくりセンター】

【概要】

(1)相互理解イベント「日本文化体験会～浴衣de抹茶～」

半導体関連企業が集積する地域に近接し、在住外国人(台湾人)が多い地域特性を踏まえ、在住外国人と地域住民をつなぐきっかけづくりを目的として、日本文化体験を通じた交流イベントを実施した。場所は、北区の歴史公園である「武蔵塚公園茶室」とし、日本文化を身近に感じられる機会を提供した。

(2)外国人も参加する地域活動

専門学校日本語科のネパール人学生が、「校区体育祭」へ参加、地域(女性の会)から肉を使用しない健康弁当を提供し交流した。外国人が「龍田の森の音楽会」の民族舞踊出演、「町内一斉清掃」、「どんどや前日の清掃活動ボランティア」など、地域で活躍している。

【実施内容】

(1)相互理解イベント「日本文化体験会～浴衣de抹茶～」

昨年9月6日(土)、北区の歴史公園「武蔵塚公園茶室」において、12名の台湾人に、着物の着付け・お茶(抹茶)の体験を実施。

着付け・茶道を、国際交流や伝統文化の継承を目的に活動する「訪く会」に協力いただき、地域の小学生2名もボランティアとして参加した。

(2)外国人も参加する地域活動

地域行事やボランティア活動に外国人が参加しやすいように、外国語チャットによる周知や、北区Instagramを活用した情報発信を行い、地域住民と顔の見える関係づくりを進めている。



【期待できる効果、今後の展開】

- 日本文化体験を通じて外国人住民の満足度が高まり、地域や行政への関心・親近感の醸成につながった。
- 地域との接点が増えることで、外国人住民が安心して地域に溶け込み、「自分の居場所がある」と感じられる環境づくりや孤立防止が期待できる。
- 今後は、北区集談会での情報共有や、外国人住民自身が地域活動に主体的に関わる仕組みづくりをさらに発展させ、継続的な多文化共生を推進していく。